

全木連時報

6月15日(土曜日)

(第656号)

平成25年(2013年)

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

全木連・全木協連・木退共通常総会開く



おめでとーございます

平成二十五年春叙勲・褒章受賞者

旭日小綬章	後藤 直剛(岐阜)	旭日双光章	金原 隆之(静岡)
旭日双光章	花尻 忠夫(大阪)	黄綬褒章	津田 潮(大阪)
旭日双光章	吉岡 實(千葉)	以上木材産業振興功労者関係	
旭日双光章	小井土文雄(群馬)	(敬称略)	

全木連通常総会

第七十四回全木連通常総会、第五十三回全木協連通常総会が五月十四日に、第四十一回木退共通常総会が翌日の十五日に、東京・港区のメルパルク東京を会場に、全国から会員多数が出席して開催された。総会には林野庁の沼田正俊長官をはじめ関係幹部、国土交通省の林田康孝木造住宅振興室長、また、林業関係団体幹部が来賓として出席し、華やかさを盛り上げた。総会の議事は順調に進み、所定の議案を滞りなく審議のうえ承認・決定して閉会した。

全木連の総会は、午後一時から進行。開会。全木連は四月に一般社団法人に移行後、初の会議となる。会議に先立ち、今春の叙勲者・褒章受賞者を事務局から報告(別掲)。全員の拍手で受賞を称えた。開会のことばを山根副会長が述べたあと、吉条会長が挨拶を行った。つづいて、来賓の沼田正俊長官、林田康孝木造住宅振興室長から祝辞を受け、司会から出席の来賓を紹介。この後、議事に入った。議事は、吉条会長が議長となり、

第一号議案の平成二十四年度事業報告承認の件、第二号議案の平成二十四年度収支決算承認の件については、事務局説明のうえ、渡辺昭監事が監事を代表して監査報告し、原案のとおり承認された。以上の議事終了後、今期全国木材産業振興大会開催予定地の坂東正一郎埼玉県木材協会会長からアピールと挨拶があった。最後に、松原副会長が閉会のことばを述べて閉会した。

目次

- 一面 全木連総会開催
- 二面 木退共総会開催
- 三面 全木協連総会開催 木材利用ポイント事業の説明会
- 四面 森林の市 景況調査

総会の挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会
会長 吉条良明

通常総会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。皆様方には、ご多用にもかかわらず、ご参集いただき感謝いたします。また、林野庁の沼田長官、国土交通省の林田木造住宅振興室長様、そして多くの友好団体の皆様方には公務ご多端の中、ご列席を賜りお礼申し上げます。全木連は、この四月一日から、これまでの「社団法人」から「一般社団法人」に移行しました。先ずもって、これを機に、

会員・全国の木材事業者の方々として一体となって木材利用推進、木材産業の振興のための活動をなお一層進めていくことをお誓い申し上げますとともに、引き続き関係機関・団体のご指導・ご支援をお願い申し上げます。景気回復

先ずもって、これを機に、会員・全国の木材事業者の方々として一体となって木材利用推進、木材産業の振興のための活動をなお一層進めていくことをお誓い申し上げますとともに、引き続き関係機関・団体のご指導・ご支援をお願い申し上げます。景気回復

木退共通常総会

木退共の総会は、五月十五日午前九時三十分を開会した。木退共は、四月に一般社団法人に移行して、初の総会となる。吉条会長が議長となり進行。

議案の①平成二十四年度事業報告承認の件②平成二十四年度収支決算承認の件は、事務局説明の後、落合公信監事が代表して監査報告を行い、承認した。③平成二十五

による木材産業の景況が前進することを強く願った。次第であります。

全木連は「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」と「くらし、街づくり、森のめぐみを活かそう」をスローガンに掲げて諸活動に取り組んできています。緊急かつ最大の課題は木材の需要拡大であり、これまでも、住生活空間、商工業施設など多様な分野において木材・国産材利用の大幅拡大が進むよう、業界の自主的活動の展開や国・地方公共団体等における対策充実など積極的に取り組んで参りました。

先の緊急経済対策の林野庁関連対策として、木材利用促進等の川下対策が重要な柱として盛り込まれ、民間を含む木造公共施設の建築促進対策、木材利用ポイント事業などが措置されました。また、国土交通省関係にありましても地域材利用の木造住宅建築促進対策が積極的に進められています。木材業界が熱望していた対策が大きく取り上げられ、林野庁・国土交通省の皆様方には感謝申し上げます。次第であります。

木材利用ポイント事業について申し上げますと、ポイント申請の募集開始に先立ち木材供給者、施工業者の登録、木材製品の登録受付などが鋭意進められており、会員の皆様方には、その対応で多忙を極めていると承知いたしております。木材利用の拡大に国民の理

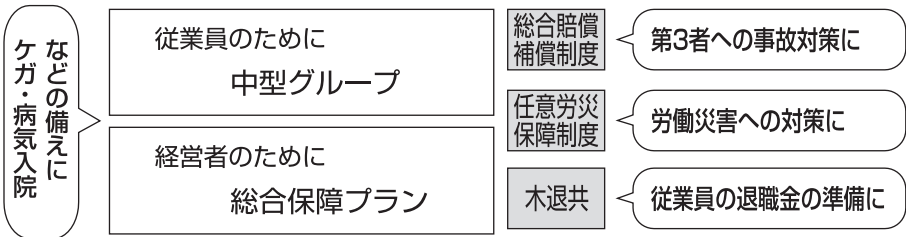
解を広く得ていく上で、この事業は極めて重要であり、木材業界挙げてその円滑な推進に取り組んでいく必要があります。全木連としても、全国事務局に参加し、皆様方のご協力の下で申請窓口業務を担当することとしています。この業務も含め、事業全体の推進に全力を挙げて取り組んでいただくよう重ねてお願い申し上げます。

木材産業の創造的再興のためには、会員挙げての徹底した木材利用普及活動、ユーザー、建築・設計関係者との連携の深化、木材利用の技術・製品開発、信頼される製品の安定供給などに限りなく挑戦していくことが不可欠であります。このような考え方で平成二十五年度事業計画を去る三月に決定いたしました。全木連は、これら諸課題の解決に向けて全力を挙げて取り組んで参る覚悟であり、ご来賓の林野庁、国土交通省、関係団体の皆様方にはご支援、ご理解を引き続きお願い申し上げます。

本日の会議は、平成二十四年度の事業報告と収支決算などをご審議いただくことになっています。限られた時間ではありますが、十分なるご審議をお願いします。最後に、春の叙勲の栄に浴された皆様方には、心からお祝いを申し上げますとともに、会員各位のご繁栄をお祈り申し上げます。有り難うございました。

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年
中型グループ



全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

全木協連通常総会

全木協連の通常総会は、午後三時三十分の開会した。

会議は、開会の辞を辻井副会長が述べて始まり、まず、坂東会長の挨拶があった。

次いで、来賓の林野庁飛山龍一木材産業課長から祝辞が述べられた。議事は、坂東会長が議長となり進行、①平成二十四年度事業報告承認の件②平成二十四年度決算及び損失処理案承認の件を事務局から説明のうえ、長谷川健治監事が

総会の挨拶

全国木材協同組合連合会

会長 坂東 正一郎

本日は全国木材協同組合連合会の第五十三回通常総会及び理事会を開催しましたところ、林野庁の沼田長官、国土交通省の林田木造住宅振興室長様をはじめご来賓の方々には公務多忙の中、ご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の景気については、長く足踏みの状態が続いていますが、ここへきて、持ち直しの動きがみられております。先行きについても、経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に回復に向かうことが期待されるところであります。

また、木材需要の大半を占める住宅建築の動向について、平成二十四年度の新設住宅着工数では、総戸数で八十八万三千戸と依然として低水準にあるものの、前年度比六%増、直近七ヶ月連続で前年同月比を上回るなど持ち直しの動きが継続しております。先行きも復興需要、マインドの改善などを背景に底堅く推移することが期待されるところであります。

このような中、政府は大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を基調とする経済対策を開始し、平成二十四年度補正予算を

含めた緊急経済対策を迅速かつ着実に実施するとともに平成二十四年度予算及び関連法案の早期成立に努めていただいているところであります。

林野庁におかれても同予算により、震災の復興、木材産業の活性化、地域材・木質バイオマスの利用促進など各般の対策を講じていただいているところであります。私も業界としては住宅需要の伸びには自ずと限界があり、住宅のみには依存しない新たな木材需要の創出が重要であるとの観点も含め、木材の利用拡大に向けあらゆる努力を傾注することが必要でありま

総会終了後に

木材利用ポイント事業について

説明会を実施

研修会を実施

全木協連の総会終了後、全木連は、木材利用ポイント事業についての説明会を開催。これは、国の平成二十四年度補正予算による同事業について周知をはかったもの。この事業は、地域材の需要喚起のため、地域材を活用した木造住宅、木製品等について、ポイント

全木連は、木材利用ポイント事業について、実際に申請窓口となる県木連など団体の担当者を対象に研修会を六月六日から、全国七会場で行った。



六月六日東京、盛岡、六月七日大阪、六月十一日岡山、熊本、六月十二日名古屋、六月十三日北海道。

一般消費者に対する普及展示 森林の市(五月十一日(土)〜十二日(日)、日比谷公園)

全木連は、木材事業者の協力を得て、一般消費者の方々を対象に、「活かして使おう国産材」をテーマとした国産材の普及推進活動の一環として展示を実施。
天候はあいにくの雨天であったが、家族連れなど多くの消費者の
方に、木のいえ、木材の良さ、合法木材の利用推進をPR。
今後、秋口に向け各イベントでの出展を予定。

森林総研が一般市民を対象にシンポジウム開催

「私たちのくらしと森林・木材の放射能」

独立行政法人森林総合研究所は、一般市民を対象にシンポジウムを開催する。
福島第一原子力発電所事故による放射能汚染は森林、林業、木材産業に大きな影響を与えた。しかし、その研究内容については、一般市民や関連業界には広く公表されていなかったことから、今回の開催となった。
シンポジウムでは、放射性物質の調査研究の最新の成果について研究担当者が、わかりやすく紹介するとともに、実際に調査研究を担当した研究者に加え、大学や行政関係者、地元福島県関係者を交えたパネルディスカッションを行い、現状を踏まえた今後の放射能汚染対策や安全性の確保、長期的な研究観測の必要性を議論する。
開催日時は、七月十八日(木)十三時より。場所は、東京新木場の木材会館。

景況調査

25年5月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数94 回答数58 回収率62%

当月の状況

販売量	増加28% (16)	変わらず56% (33)	減少16% (9)
仕入量	増加26% (15)	変わらず58% (34)	減少16% (9)
販売価格	上昇50% (29)	変わらず48% (28)	下降2% (1)
仕入価格	上昇71% (41)	変わらず27% (16)	下降2% (1)

来月の見通し

販売量	増加43% (25)	変わらず52% (30)	減少5% (3)
仕入量	増加36% (21)	変わらず54% (31)	減少10% (6)
販売価格	上昇47% (27)	変わらず53% (31)	下降0% (0)
仕入価格	上昇60% (35)	変わらず38% (22)	下降2% (1)

3か月後相場予想

米材	強含み 74% (35)	保ち合い 22% (10)	弱含み 4% (2)
南洋材	62% (28)	31% (14)	7% (2)
北洋材(欧州材を含む)	69% (33)	25% (12)	6% (3)
国産材	51% (27)	45% (24)	4% (2)
建材	70% (33)	26% (12)	4% (2)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 58% (28)	1ヵ月 36% (17)	1ヵ月以上 6% (3)
---------------	----------------	--------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数110 回答数64 回収率58%

当月の状況

販売量	増加37% (23)	変わらず46% (29)	減少17% (11)
仕入量	増加33% (21)	変わらず50% (31)	減少17% (11)
販売価格	上昇22% (14)	変わらず75% (47)	下降3% (2)
仕入価格	上昇35% (22)	変わらず52% (33)	下降13% (8)

来月の見通し

販売量	増加44% (28)	変わらず48% (30)	減少8% (5)
仕入量	増加35% (22)	変わらず49% (31)	減少16% (10)
販売価格	上昇22% (14)	変わらず73% (46)	下降5% (3)
仕入価格	上昇32% (20)	変わらず58% (37)	下降10% (6)

3か月後相場予想

米材	強含み 72% (18)	保ち合い 24% (6)	弱含み 4% (1)
南洋材	71% (15)	19% (4)	10% (2)
北洋材(欧州材を含む)	86% (18)	9% (2)	5% (1)
国産材	40% (22)	51% (28)	9% (5)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 42% (5)	1ヵ月 42% (5)	1ヵ月以上 16% (2)
---------------	---------------	-------------	---------------

林業・木材産業の発展を支えます！

昭和38年創立以来、林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行っています。

(対象業種)

- 造林・育林
- 木材・木製品製造
- 林業種苗生産
- 木材卸売
- 素材生産
- 薪炭生産
- きのこ生産



平成25年度東日本大震災復旧緊急保証の受付を開始いたしました。
詳しくは基金までお問い合わせ下さい。

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>